

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 日本製粉株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2001 URL <https://www.nippn.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前鶴 俊哉
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 津田 尚之 TEL 03-3511-5307
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	80,685	△5.7	1,645	△33.8	2,601	△20.2	1,685	△32.3
2020年3月期第1四半期	85,544	2.6	2,486	△1.6	3,259	△2.6	2,491	8.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,732百万円 (110.6%) 2020年3月期第1四半期 1,297百万円 (△56.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	21.99	19.17
2020年3月期第1四半期	32.53	28.38

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2021年3月期第1四半期	284,657		159,928		54.5	
2020年3月期	290,428		158,581		52.9	

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 155,237百万円 2020年3月期 153,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2021年3月期	—				
2021年3月期（予想）		17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	170,000	△1.3	3,500	△34.1	4,200	△30.7	3,000	△25.9	39.15
通期	345,000	0.0	9,000	△18.9	10,500	△17.6	7,000	△21.7	91.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	78,824,009株	2020年3月期	78,824,009株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,097,679株	2020年3月期	2,157,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	76,648,148株	2020年3月期1Q	76,582,988株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	85,544	80,685	△4,858	94.3%
営業利益	2,486	1,645	△841	66.2%
経常利益	3,259	2,601	△658	79.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,491	1,685	△805	67.7%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による世界規模での深刻な打撃に加え、感染第2波への懸念から依然として経済活動が抑制されており、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界においても、本年4月から5月にかけて発令された緊急事態宣言に伴う外出自粛要請、各業種に対する休業要請、時短営業及び大規模イベントの中止等が、外食産業を中心に大きな影響を及ぼしました。その上、新型コロナウイルス感染症をきっかけとした国内外での消費行動の大きな変化は、緊急事態宣言解除後も依然として続いており、事業環境は厳しさを増しております。

このような状況下におきましても、当社グループは、社会的責任として安定的に食品を供給するため、細心の注意を払い、お客様及び従業員の感染防止対策と安全確保に努めてまいりました。

また、当社グループは、予測のつかない厳しい事業環境においても、持続的成長を維持することを目指し、コスト削減と販売の強化を軸に既存の事業を充実させるとともに、今後成長が見込まれる分野への積極的な投資を行うなど、多角的総合食品企業としての事業基盤強化に取り組んでいます。現在進行中の設備投資として、福岡工場でのプレミックス工場増設、ニッポン冷食株式会社による伊勢崎工場での冷凍食品工場増設、NIPPON(Thailand)Co.,Ltd.での冷凍生地製造工場新設などを取り進めており、国内外で積極的な設備投資を推進しています。

その中で、会社組織の体系を整え、本年4月1日より、事業部門については、国内は「製粉」、「食品」、「中食」の3事業本部体制、海外を担当する1事業本部を加え、4事業本部体制といたしました。各事業部門を支える生産・技術本部とともに迅速かつ積極的な事業展開を進めてまいります。

また、本年6月26日より、当社は監査等委員会設置会社に移行し、監査・監督機能を強化するとともに、コーポレートガバナンス体制をより一層充実させ、更なる企業価値向上を図っております。

さらに、2021年1月1日より、当社は会社名(商号)を「日本製粉株式会社」から「株式会社ニッポン」へ変更することを決定いたしました。創立以来の会社名を変更することにより、当社は新たに、名実ともに多角的総合食品企業として成長することを目指し、従来からの呼称「ニッポン」を新社名に用いて、皆さまから親しみをもっていただける会社として、更なる事業の拡大、発展を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けたことにより、売上高は806億8千5百万円(前年同期比94.3%)、営業利益は16億4千5百万円(同66.2%)、経常利益は26億1百万円(同79.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億8千5百万円(同67.7%)となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

①製粉事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	25,770	24,131	△1,638	93.6%
営業利益	1,317	951	△366	72.2%

当社グループは、食の安全・安心志向の高まりを受けて、品質管理の強化に努めるとともに、お客様のニーズや食の多様化に対応した課題解決型営業の推進に注力しております。新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する状況下におきましても、お客様との取り組み強化や営業力・ブランド力の強化に努め、販売活動に精励してまいりました。

その結果、小麦粉の販売数量は前年同期を上回りましたが、本年1月に実施した価格改定の影響等により、売上高は前年同期を下回りました。

副製品のふすまについては、販売数量・売上高ともに前年同期を上回りました。

なお、本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が5銘柄平均(税込価格)で3.1%引き上げられたことに伴い、本年6月20日出荷分より業務用小麦粉の販売価格を改定しております。

以上により、製粉事業の売上高は241億3千1百万円(前年同期比93.6%)、営業利益は9億5千1百万円(同72.2%)となりました。

②食品事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	50,926	48,392	△2,533	95.0%
営業利益	1,022	825	△197	80.7%

業務用食品では、緊急事態宣言に伴う外出自粛要請、各業種に対する休業要請、時短営業及び大規模イベントの中止等により、外食産業を中心に需要が低迷した結果、売上高は前年同期を下回りました。

一方、家庭用食品では、外出自粛により巣ごもり需要が高まった結果、家庭用プレミックス、パスタ、パスタソース等が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

また、冷凍食品類についても、家庭用食品と同様に、家庭内での内食需要が拡大するなど消費行動が大きく変化した結果、冷凍パスタ「オーマイプレミアム」シリーズ、1食完結型のトレー入り「よくばり」シリーズ等が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

中食事業では、在宅勤務の増加や外出自粛による需要低迷の影響により、売上高は前年同期を下回りました。

以上により、食品事業の売上高は483億9千2百万円(前年同期比95.0%)、営業利益は8億2千5百万円(同80.7%)となりました。

③その他事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	8,847	8,161	△686	92.2%
営業利益又は 営業損失(△)	138	△93	△232	—

エンジニアリング事業は、大口工事の引き合いが落ち着いたことにより売上高は前年同期を下回りました。

ヘルスケア事業は、各業種の休業、時短営業により、販売数量が伸び悩んだ結果、売上高は前年同期を下回りました。

以上により、その他事業の売上高は81億6千1百万円(前年同期比92.2%)、営業損失は9千3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2020年3月期	2020年6月期	増減額
流動資産	114,534	105,201	△9,332
固定資産	175,832	179,397	3,564
繰延資産	61	58	△3
資産合計	290,428	284,657	△5,771
流動負債	74,078	66,068	△8,009
固定負債	57,768	58,660	891
負債合計	131,847	124,729	△7,118
純資産	158,581	159,928	1,347
負債・純資産合計	290,428	284,657	△5,771

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ57億7千1百万円減少し、2,846億5千7百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が24億6千万円、有形固定資産が11億4千2百万円増加したこと及び現金及び預金が56億6千7百万円、受取手形及び売掛金が31億4百万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ71億1千8百万円減少し、1,247億2千9百万円となりました。この主な要因は、社債が50億円、未払法人税等が20億9千万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ13億4千7百万円増加し、1,599億2千8百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が16億4千7百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、依然として先行き不透明な状況が続くと考えられています。

このような状況下におきましても、当社グループは、社会的責任として安定的に食品を供給するため、引き続き細心の注意を払い、お客様及び従業員の感染防止対策と安全確保に努めながら、多角的総合食品企業としてさらなる成長を目指してまいります。

2021年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね想定通りであったことから、2020年5月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期や業績に及ぼす影響につきましては、依然として不透明な部分がございますので、今後の推移等により予測の修正が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,829	28,161
受取手形及び売掛金	44,928	41,824
商品及び製品	14,977	14,900
仕掛品	301	189
原材料及び貯蔵品	16,717	16,627
その他	3,916	3,557
貸倒引当金	△136	△59
流動資産合計	114,534	105,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,084	42,333
機械装置及び運搬具(純額)	20,146	19,944
土地	40,605	40,580
建設仮勘定	2,199	3,247
その他(純額)	1,922	1,994
有形固定資産合計	106,957	108,100
無形固定資産		
のれん	514	486
その他	1,110	1,130
無形固定資産合計	1,624	1,616
投資その他の資産		
投資有価証券	61,525	63,985
その他	6,355	6,349
貸倒引当金	△631	△654
投資その他の資産合計	67,249	69,680
固定資産合計	175,832	179,397
繰延資産	61	58
資産合計	290,428	284,657

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,115	25,966
短期借入金	20,824	21,860
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	2,473	382
賞与引当金	710	546
その他	17,954	17,312
流動負債合計	74,078	66,068
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	25,092	25,087
長期借入金	12,418	12,369
退職給付に係る負債	5,212	4,880
役員退職慰労引当金	873	775
その他	14,172	15,547
固定負債合計	57,768	58,660
負債合計	131,847	124,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	11,262	11,262
利益剰余金	109,507	109,807
自己株式	△3,422	△3,324
株主資本合計	129,587	129,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,444	26,092
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	961	374
退職給付に係る調整累計額	△1,267	△1,218
その他の包括利益累計額合計	24,139	25,250
新株予約権	260	183
非支配株主持分	4,593	4,507
純資産合計	158,581	159,928
負債純資産合計	290,428	284,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	85,544	80,685
売上原価	61,977	57,800
売上総利益	23,567	22,885
販売費及び一般管理費	21,080	21,240
営業利益	2,486	1,645
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	693	762
その他	203	295
営業外収益合計	909	1,073
営業外費用		
支払利息	53	40
その他	82	76
営業外費用合計	136	117
経常利益	3,259	2,601
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	504	—
特別利益合計	506	1
特別損失		
固定資産除売却損	38	12
投資有価証券評価損	42	—
建物解体費用	37	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	121
特別損失合計	118	133
税金等調整前四半期純利益	3,647	2,468
法人税、住民税及び事業税	544	263
法人税等調整額	590	601
法人税等合計	1,135	865
四半期純利益	2,512	1,603
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	21	△81
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,491	1,685

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,512	1,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,358	1,675
繰延ヘッジ損益	△16	1
為替換算調整勘定	142	△586
退職給付に係る調整額	13	49
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△10
その他の包括利益合計	△1,215	1,129
四半期包括利益	1,297	2,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,281	2,797
非支配株主に係る四半期包括利益	15	△64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,770	50,926	76,696	8,847	85,544	—	85,544
セグメント間の内部売上 高又は振替高	431	199	631	554	1,185	△1,185	—
計	26,201	51,126	77,328	9,402	86,730	△1,185	85,544
セグメント利益	1,317	1,022	2,340	138	2,478	8	2,486

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,131	48,392	72,524	8,161	80,685	—	80,685
セグメント間の内部売上 高又は振替高	477	126	604	1,365	1,969	△1,969	—
計	24,608	48,519	73,128	9,527	82,655	△1,969	80,685
セグメント利益又は損失 (△)	951	825	1,776	△93	1,682	△37	1,645

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△37百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。